

学校教育目標	ストリートスマートの育成 ～学ぶことを通して、自ら課題を形成し、その課題を自ら解決し21世紀を生き抜く力をもった人を育てる～				
	子どもたちの自己実現を支援するために次の力をはぐくみます。 ○自ら学習力の向上に努め、自律的に学び続けていく力(知) ○生命を尊重し、心身の健康を維持向上していく力(徳・体) ○ともに認め合い社会参画に努め、自他および社会を高めていく力(公・開)				
学校概要	創立 39 周年	学校長 長谷部 宏行	副校長 吉田 岳雄	3 学期制	一般学級: 11 個別支援学級: 2
	児童生徒数: 371 人	主な関係校: 高田小学校 高田東小学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	高田中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
①協働的に次代の社会をつくる力 ②自己肯定感・自己有用感 (高田中ブロック共通) ①社会(地域)理解力・自己理解力 ②コミュニケーション、人間関係形成、社会(地域)参画 ③計画実行・問題解決力・自己調整	高田中学校 高田小学校 高田東小学校	○自らすすんで学び続ける子 ○仲間と協力してよりよい社会の実現を目指す子 ・「社会と自分を知り、自分らしく生きようとする子どもの育成」をブロック研究テーマとした授業づくりの推進 ・独自教科「たかた科」で育成を目指す資質・能力の明確化と「全体計画」「学年カリキュラム」の作成と活用 ・「情報活用能力の育成」に向けた小中一貫教育の推進 ・小中学校長会、担当者会、全体会での子どもの姿をもとにした協議やICT活用を通して小中一貫教育の推進

中期取組目標	生徒一人ひとりの思いを大切にしながら、笑顔と居場所がある明るくあたたかい学校づくりを「チームたかた」で目指します。 ○生徒が自らの将来の夢や目標の実現に向かって、自ら考え、判断・決定・行動する力や、目の前の困難に向き合っていくとすることのたくましさの醸成を目指します。 ○生徒が異なる価値観や考え方を認め尊重し合い、データを活用しながら自分の言葉で自分の考えを伝えようとする態度の育成を目指します。 ○教職員が生き生きと学び続け、生徒の意見やアイデアを取り入れ、生徒に寄り添った指導力の向上に努める学校を目指します。 ○家庭・地域・民間企業・関係機関などとの連携・協働による「社会とつながる学び・社会に開かれた学校」づくりを目指します。
--------	--

重点取組分野		具体的取組
知	学習指導	①朝学習や、ICTの利活用により、自ら学力の向上に努め、自立的に学び続けていく力を育む。②育成を目指す資質・能力を明確にし小中一貫教育推進ブロックの授業を実施する。③「主体的・対話的で深い学び」の実現を図るため、「学力・学習状況調査」のデータ結果や生徒の授業アンケート結果を活用し、授業改善に生かす。
担当	学習研究部・各教科	
徳	人権教育	①よりよい社会の実現にむけ「ともに生きる」生徒の育成を目指し、道徳教育の充実を図る。②「Pay it Forward」の考え方を積極的に推進する中で、互いの良さを認め合いながら、自分の思いを安心して表現できる学校づくりを行う。③人権学習において人権について一人ひとりが考える具体的な取組を実施する。④デジタル・シティズンシップの考えを意識した授業作りの推進を行う。
担当	道徳・人権教育	
体	健康教育	①健康教育や学校保健委員会などを通して、生徒がデータから自分や学校の状況を理解することで、心身の成長や健康について関心を持ち、自ら健康で安全な生活を送れるように支援を行う。②保健体育や部活動を通じて、生徒が体力や運動習慣について理解を深め、生徒が主体になって自ら体力向上や運動習慣の改善を目指すように助言をする。③中学校給食の全員喫食に合わせ、食育の推進を図り、校内体制を整えることで、生徒の健全な食生活の推進につなげる。
担当	保健安全美化指導部・保健体育科	
公開	自分づくり教育 (キャリア教育)	①独自教科「たかた科」を中心に、自分づくり教育(キャリア教育)などを通して、社会的・職業的自立に向けて自分の役割と責任を自覚し、ICTを活用しながら社会に関わろうとする意識を高める。②地域と連携した活動の中で、自分の意見やアイデアを発信する場面を設定し、地域社会の一員としての意識の醸成を図る。
担当	学習研究部・特活指導部	
いじめへの対応		①いじめの早期発見・未然防止を実現するために、毎月の生活アンケートや健康観察、いじめに関するアンケートを実施し、生徒の声に耳を傾け寄り添い見守りの強化を図る。②いじめ防止対策推進法に関する職員研修を実施し、いじめ防止対策委員会を中心とした職員体制を強化し感度をあげる。③ネットトラブルに関し学ぶ機会を設け、デジタルシティズンシップの育成へつなげる。
担当	いじめ防止対策委員会	
人材育成・組織運営(働き方)		①授業を互いに見合い、学び合い、授業力向上に向けた意見交換が行われる職場環境づくりを、メンターチームの取組も生かしながら進める。②週に1回、学年連絡会を行い、全体を見通して共通理解を図り、組織的な学校運営を進める。③業務の見直しや役割分担を進め、組織的な働き方改革につなげる。
担当	管理職・主幹教諭	
生徒指導		①生活アンケート、教育相談、YP、毎日の健康観察(スタナビ)を活用し、生徒一人ひとりの思いに寄り添った積極的な生徒指導を行い、生徒が安全で安心して過ごせる学校づくりを図る。②校内ハートフル事業を活用し、様々な教育的ニーズに対応する支援体制を築く。
担当	生徒指導・特別支援部	
特別支援教育		①特別な支援を要する生徒への個別的教育支援計画・個別の指導計画作成を全職員で取り組み、現状や一人ひとりの思いに基づいて、支援を要する生徒への理解を深める。②特別支援教室(バスタールーム)を活用し、不登校・集団生活への不適応など課題のある生徒への「個別的教育支援計画」に基づいた支援の充実を図る。③ICTの効果的な活用について全教職員で検討し、共有する。
担当	生徒指導・特別支援部	
地域学校協働活動		①「小中連携」「地域連携」を意識した活動の充実を図るため、生徒自らが考え、話し合い、地域行事等に関わりながら意見を生かす場面を設定する。②地域学校協働活動推進員(学校・地域コーディネーター)が運営する地域学校協働本部を中心に、学校運営協議会等と連携し、放課後の学習支援の充実を図る。
担当	管理職・専任	
担当		